

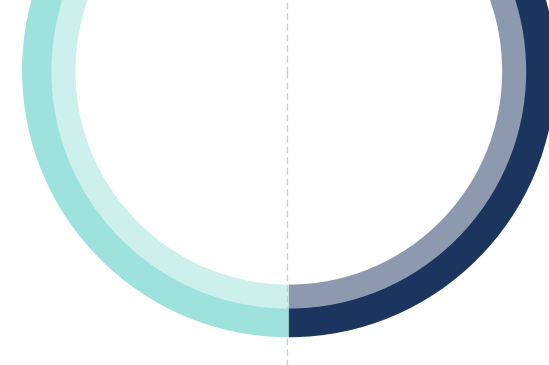
デジタル変革の加速

データに関して最新のアプローチを採用し、より迅速にビジネスを改革しましょう



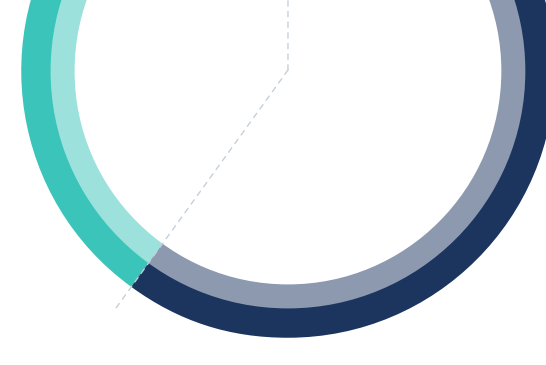
変革を実施するか悩んでいる余裕はありません。その理由は以下のとおりです。

顧客の要求がかつてないほど厳しくなっている。



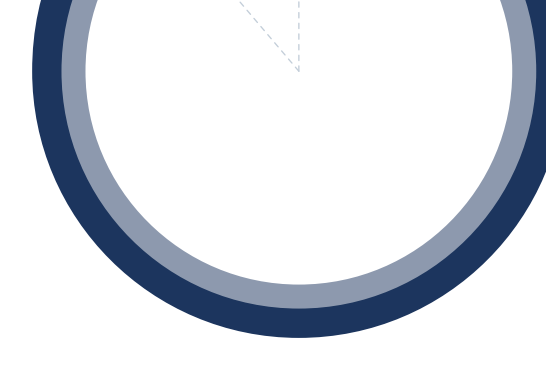
消費者の50%は、会社が消費者のニーズを予測できない場合、他のブランドに乗り換えることを考えます。¹

競争はますます激しくなっています。



2020年までに、大企業の60%が組織全体のデジタルプラットフォーム導入プロセスに着手する予定です。²

デジタルイノベーションの流れに対応する必要があります。



組織の89%がデジタルファースト戦略を実装済みであるか、導入を予定しています。³

変革の原動力は何ですか。データです。

多くの会社は以下の方法でアナリティクスを活用しています。⁴



69.4%

データ主導型文化を作り出す



64.5%

従来の常識を破壊するイノベーションへの新たな道を開拓する



62.9%

新しい製品やサービスを始める



64.5%

市場投入期間を短縮する



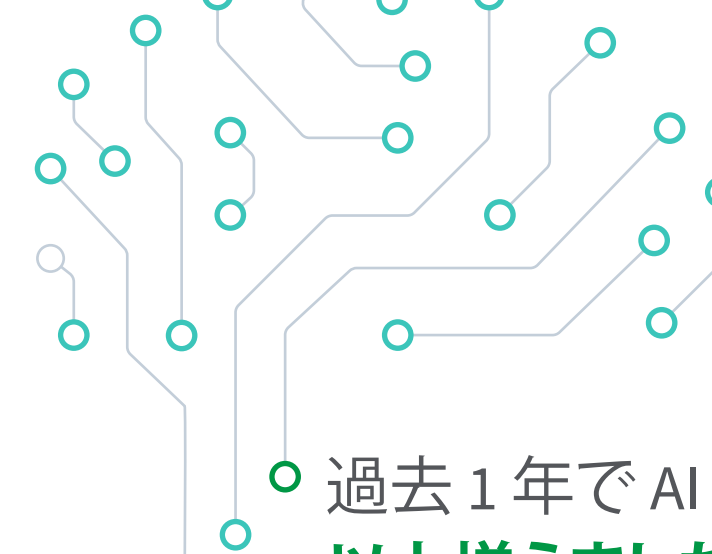
72.6%

コストを削減する

データの活用に加え、データを使ってリードする。

1 機械学習と人工知能 (AI) を活用する

人間の探求心と機械が生成した提案を組み合わせ、組織の能力を飛躍的に高め、画期的な発見につなげます。



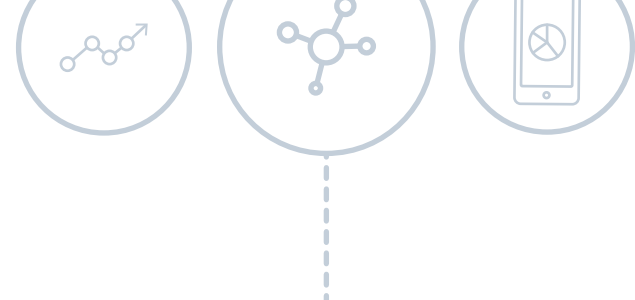
過去1年でAI導入率が60%以上増えました。⁵

“技術に精通していないビジネスユーザーも、この新しい能力を通じ、BI、アナリティクス、およびデータ主導型意思決定を容易に利用し、理解して、実行できるようになります。”

— DOUG HENSCHEN (ダグ・ヘンシェン) 氏、CONSTELLATION RESEARCH 社⁶

2 エッジにアナリティクスを組み込む

発見能力を会社の隅々まで浸透させ、部門や勤務場所にかかわらず、できるだけ多くのユーザーが発見能力を活用できるようにします。



2020

2020年までに、IT運用チームの40%が、組織のIoTイニシアチブの促進、実現、運用に対して責任を持つようになります。これは、2018年に比べて5% (ポイント)の増加に相当します。⁷

2022

2022年までに、企業が生成したデータの50%以上が、データセンターやクラウド以外の場所で作成および処理されるようになります。⁷

3 全員が制限なく探索することが可能

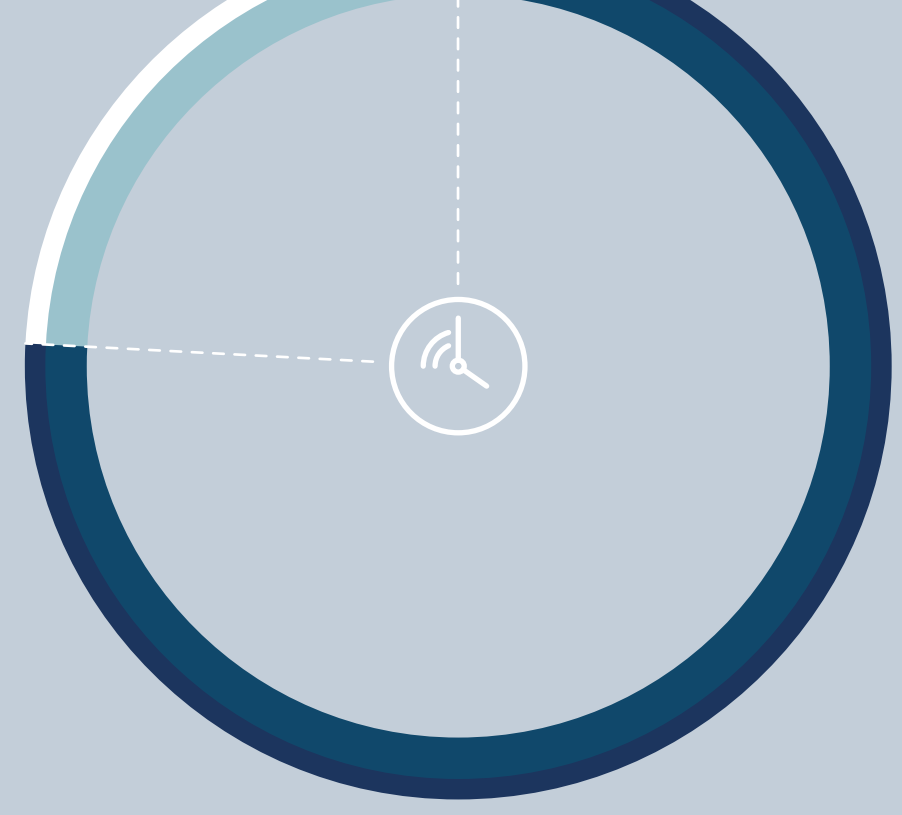
自然かつ自由な形式でユーザーがデータを操作できると、従来は思いつかなかった方法で探索を行い、予期していなかった関連を明らかにすることができます。

多くの会社がセルフサービスBIに移行している理由⁸



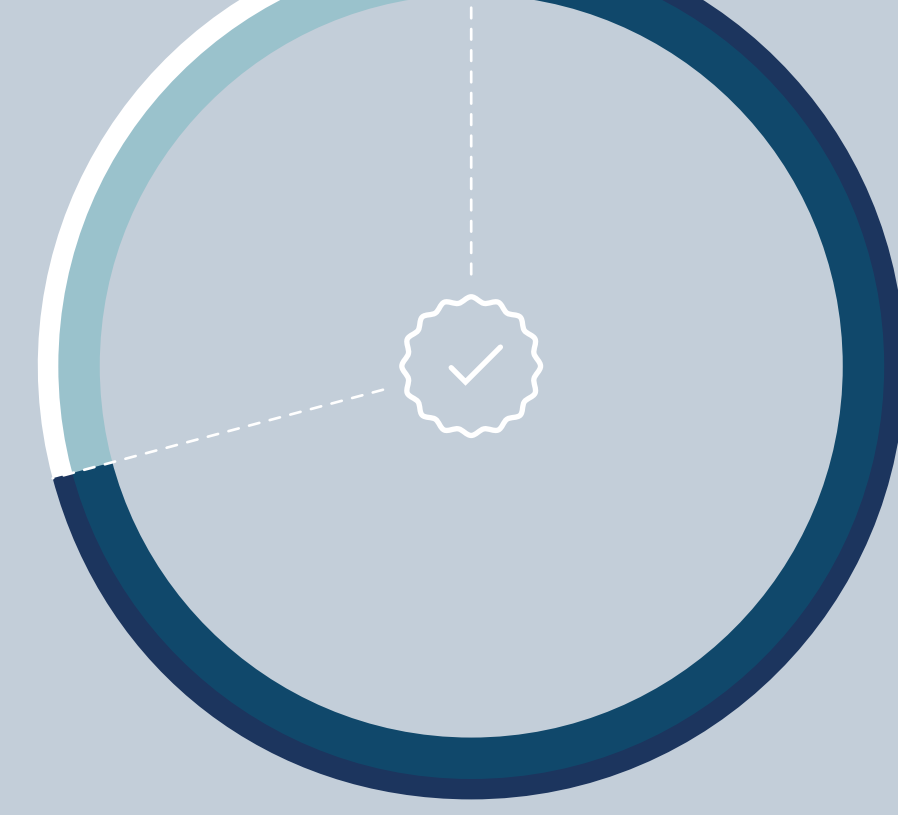
62%

より自由な形式でデータにアクセスしたい



76%

より適切な時間枠で分析を実行したい



71%

より高品質のデータや分析が望ましい

4 データリテラシーで全従業員の能力を強化する

社内の全員が日常業務で発見する能力を獲得すると、変革が新しい標準になる可能性があります。

データリテラシーの高い従業員の83%が、自らの業績が良好だと考えています。⁹

従業員の91%が、データが業務改善に役立つことに同意しています。⁹

従業員の70%が、自らのデータスキルセットを強化するために、時間と労力を費やすことを希望しています。⁹

多くの会社は既に成果を実現しています。



再検討されたビジネスプロセス

英国のAvon and Somerset Police (エイボン サマーセット警察部門) は、上司が担当チームを容易に監視できる通話処理専用アプリの導入で、緊急通話への応答時間を短縮し、生産性を20%前後高め、380万ポンドを節約することができました。



顧客インテリジェンスの向上

石油データの大手企業であるBP社はマーケットバスケットデータとロイヤリティプログラムのデータを組み合わせ、消費期限の短い商品の生産と販売のバランスをとり、2年間で100万ポンド以上を節約しました。



新しい収益源

Cisco社は各部門から入手したデータ全体を1つの顧客ビューに関連付け、営業部門がアップセル、クロスセル、更新のフォローアップをインテリジェントに実施できるようにしました。その結果、1億ドルの新たな収益を計上し、400万ドルのコストを削減できました。



リスクとリターン最適化

英国の化粧品会社LUSH社は、アナリティクスプラットフォームを活用して消費期限の短い商品の生産と販売のバランスをとり、2年間で100万ポンド以上を節約しました。



デジタル変革が重要です。Qlikの明らかな利点をご紹介します。

業務変革がどの段階であっても、Qlikの自己完結型データ管理機能とアナリティクスプラットフォームを活用して、次の段階やその先の段階へと進むことができます。

詳細を見る

QLIK® について

Qlikの使命は、すべての人がデータを使用して非常に困難な課題を解決できる、データリテラシーに富んだ世界を構築することです。組織のデータをあらゆるソースから取得して統合し、ユーザーがスキルレベルに関係なく探求心に従って新しいインサイトを明らかにできるのは、Qlikのエンド・ツー・エンドのデータ管理とアナリティクスプラットフォームだけです。Qlikを使用すると、顧客の行動に関する理解を深め、ビジネスプロセスを刷新するとともに、新しい収益源を発見し、リスクとメリットのバランスを維持することができます。Qlikは米国ペンシルバニア州キング オブ プルシアに本社があり、全世界の100か国以上で、48,000社以上のお客様にソリューションを提供しています。

¹https://a.sfdstatic.com/content/dam/www/ocms/assets/pdf/misc/socc-2016.pdf

²https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerid=prUS43188017

³https://resources.idc.com/download/white-paper/2018-digital-business/hsCtaTracking=0e45fe0-22ec-420e-9408-ac5ce60e7d1d7c4c6ab9d-9c71-4ee6-bf66-398a5357d2ba

⁴http://newantage.com/wp-content/uploads/2017/01/Big-Data-Executive-Survey-2017-Executive-Summary.pdf

⁵https://narativescience.com/company-announcements/artificial-intelligence-ai-adoption-grew-over-60-in-the-last-year/

⁶https://www.zdnet.com/article/how-machine-learning-and-artificial-intelligence-will-transform-business-intelligence-and-analytics/

⁷https://www.gartner.com/doc/3889058/edge-completes-index-gartner-trend

⁸https://www.forbes.com/forbesinsights/qlik-enablement/index.html

⁹http://data literacy.info/research